

図－２ 設計基準対策（地震対策、津波対策）

【工事概要】

①地震対策：基準地震動の見直し（700→856 ガル）に伴い、使用済燃料ピットクレーン等の設備や一次冷却材系統等の配管の耐震補強工事を実施した。

例）耐震補強工事、斜面崩落対策工事

②津波対策：敷地への浸水を防止するために海水ポンプ室の前面および周囲に防護壁および止水壁等を設置した。

例）海水ポンプ室前防護壁・止水壁設置、自然現象監視カメラ、潮位計設置

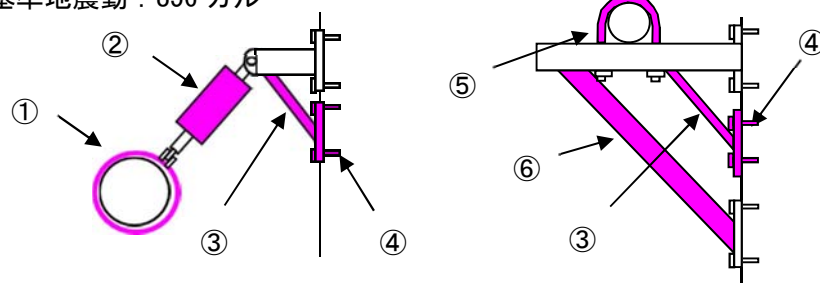
〔下線の対策を下記工事概要図に示す〕

【工事概要図】

【地震対策（例）】

＜耐震補強工事＞

基準地震動：856 ガル



- ①クランプを厚板化
- ②スナバを大型化
- ③サポート部材追加（鋼材）
- ④ボルト追加
- ⑤太径Uボルトへ交換
- ⑥サポート部材補強

【津波対策（例）】

＜海水ポンプ室前防護壁・止水壁設置＞

